

参考資料集

H29.7.24 空港経営改革推進委員会 第1回会議

広島空港の概況	3
広島空港の路線ネットワーク	4
国内線の利用特性	5
国際線利用の推移	6
広島県居住者(日本人)の出国空港	7
広島県訪問者(外国人)の出国空港	8
シンガポール線の就航	9
訪日誘客支援空港	10
広島県企業の海外進出状況	12
広島県企業のアジア地域における進出状況	13
広島県観光客数の動向	14
広島県 国際プロモーションの概要	15
せとうちDMO	16
バス等事業者によるインバウンド対応(FIT向けの二次交通対策)	17
広島空港のインバウンド対応	18
山陰・瀬戸内・四国エクスプレスウェイパス	19

- ✈️ 広島空港は広島県のほぼ中央に位置し、広島市の東約50kmの三原市本郷町に設置された国管理空港であり、3,000mの滑走路と9つのスポット、高カテゴリーの計器着陸装置(CAT-Ⅲ)を有している。
- ✈️ 年間利用者数約270万人(うち国内線約240万人／国際線約30万人)の中四国地方最大級の国際空港として、国内外の各都市との流動を支える空の玄関口として大きな役割を果たしている。

広島県位置図



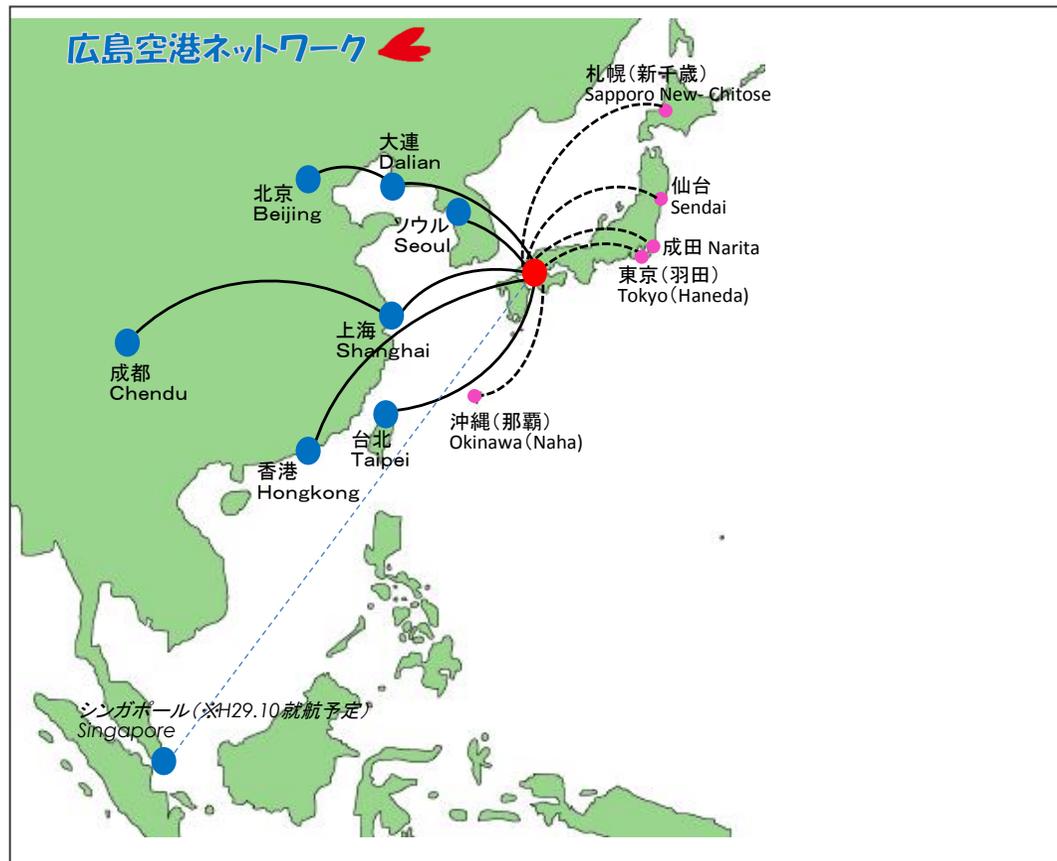
所在地	広島県三原市
空港の種類	国管理空港
総面積	198ha
運用時間	14時間(7:30-21:30)
滑走路	1本(3,000m×60m)
スポット	大型ジェット機 7バース 中型ジェット機 1バース 小型ジェット機 1バース 外
計器着陸装置	CAT-Ⅲ
定期路線 (H29.7時点)	【国内線(5路線)】 羽田, 成田, 新千歳, 仙台, 那覇 【国際線(5路線)】 ソウル, 台北, 大連(北京), 上海(成都), 香港
旅客者数 貨物量 (H28年度)	約288.5万人／年 約2万トン／年

- 【沿革】
- 平成5年新広島空港供用開始(滑走路2,500m), 旅客ターミナルビル供用開始
 - 平成6年広島空港へ名称変更
 - 平成13年滑走路延長(3,000m)
 - 平成20年計器着陸装置CAT-Ⅲ供用開始

広島空港の路線ネットワーク

- ✈ 羽田線を中心に数多くの路線が就航し、国内線5路線、国際線5路線(7都市)のネットワークを有している。
- ✈ 春秋航空日本(成田線)や香港エクスプレス(香港線)など、LCCやインバウンドを中心とした新たな航空需要を背景としたネットワークの拡充も進みつつある。

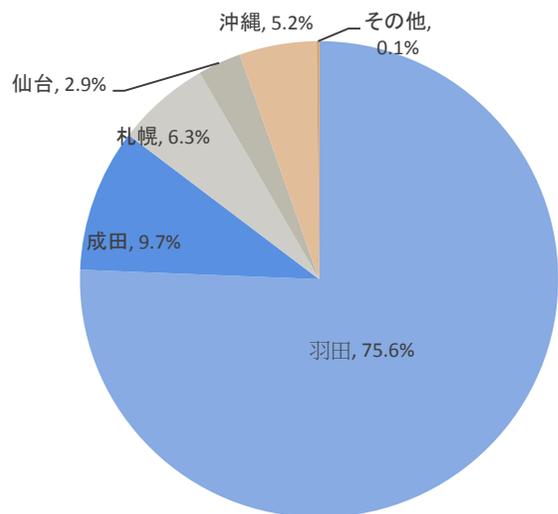
	路線	航空会社	運航便数
国内線	札幌	ADO (ANA) JAL	2便/日
	仙台	IBEX (ANA)	2便/日
	羽田	ANA, JAL	17便/日
	成田	IBEX (ANA) 春秋航空日本	3便/日
	那覇	ANA	1便/日
国際線	ソウル	エアソウル	5便/週
	大連・北京	中国国際航空	5便/週
	上海・成都	中国東方航空	7便/週
	台北	チャイナエアライン	7便/週
	香港	香港エクスプレス	3便/週



(平成29年7月時点)

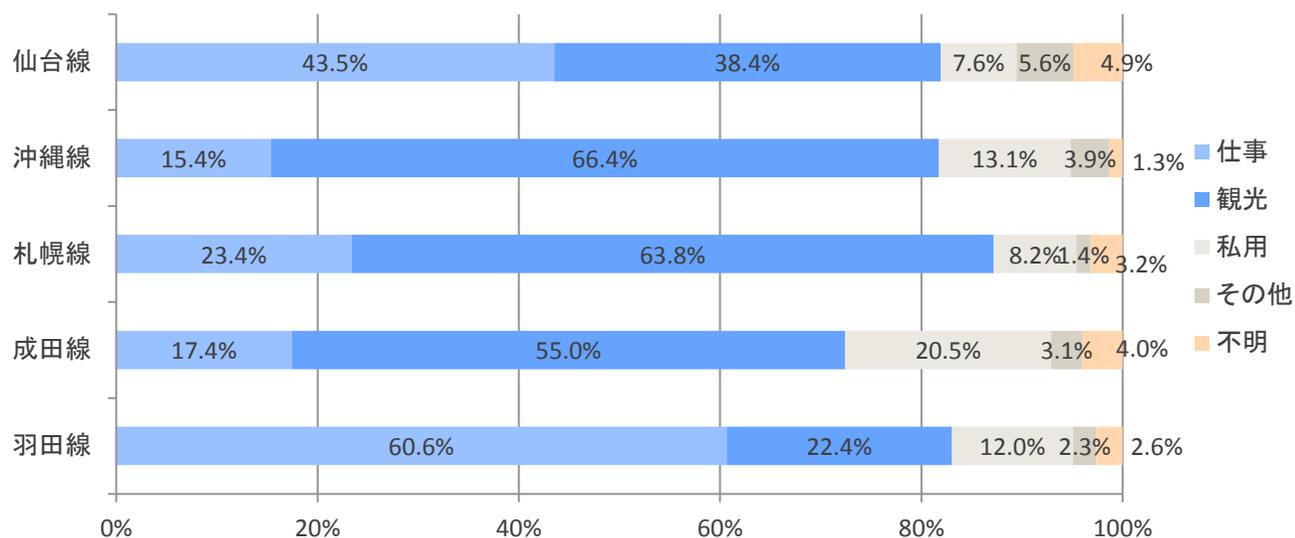
- ✈ 国内線の8割弱を占める羽田線は、利用者の約6割がビジネス利用となっている。
- ✈ 羽田線に次いで、成田線の利用が多く首都圏との旺盛な流動が広島空港の利用を支えている。
- ✈ なお、札幌線、沖縄線は6割強が観光目的の利用であり、ビジネス利用は少ない。

国内線路線別シェア(平成27年度)



(出典) 広島県資料

路線別・旅行目的別シェア(平成27年度)

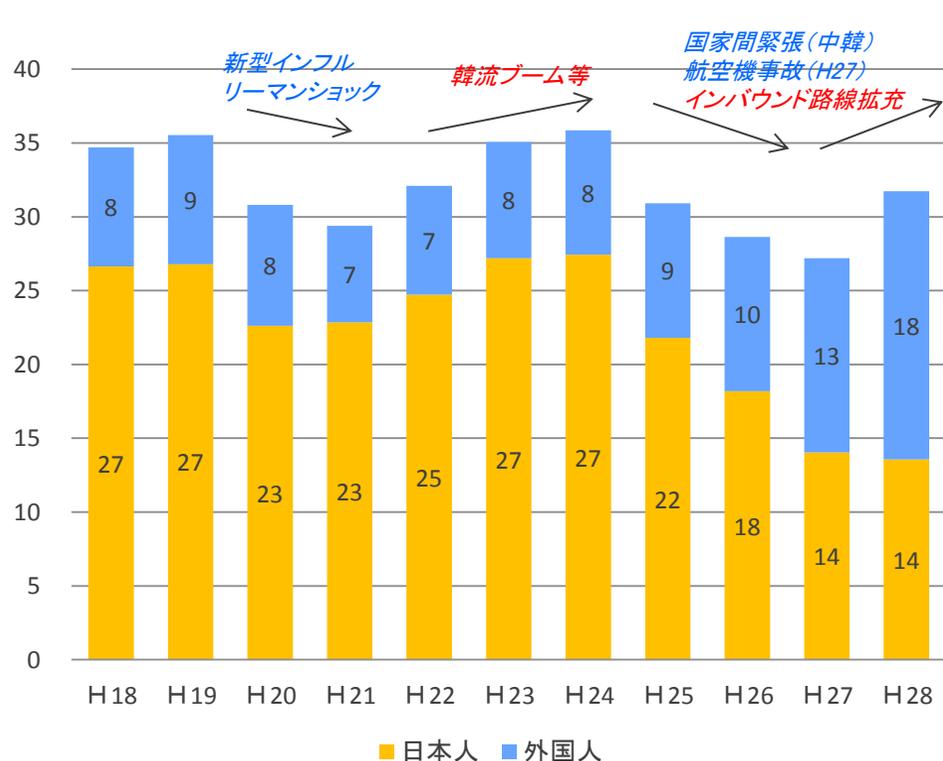


※航空旅客動態調査の調査結果をもとに平均的な割合を算出(平日×5+休日×2)

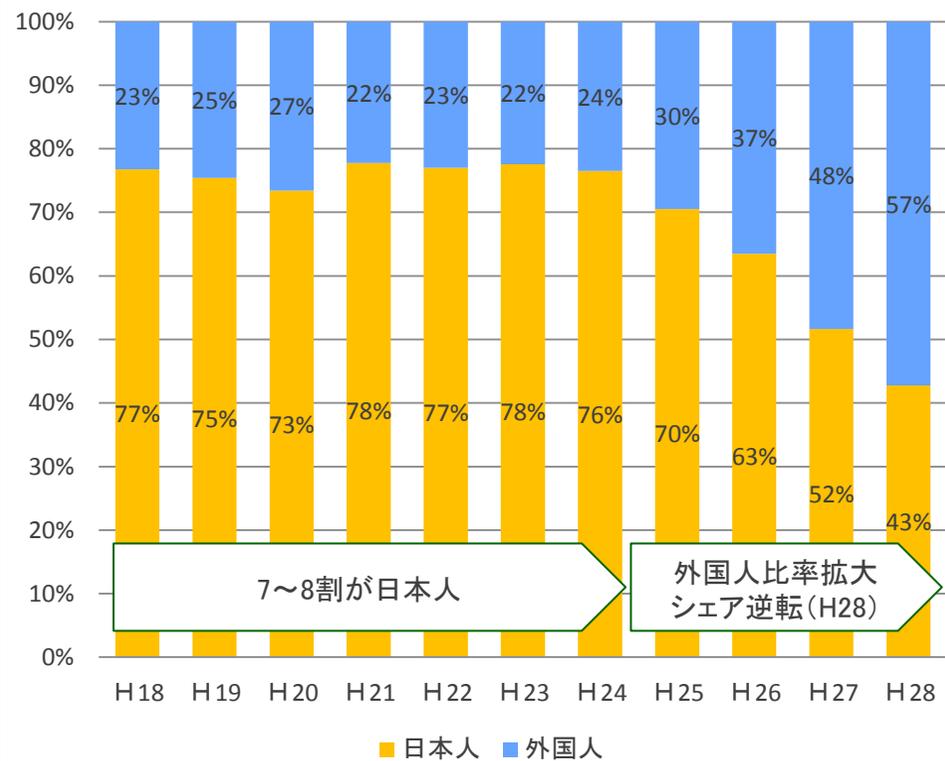
(出典) 国土交通省「平成27年度航空旅客動態調査(速報値)」より作成

- ✧ 国際線利用は、イベントリスクの影響等もあるものの、これまでは概ね30万人規模で推移。
- ✧ 平成24年頃まではアウトバウンド利用が7～8割を占め、特に第2次韓流ブーム等(平成22年～)の際には、アウトバウンド利用を中心に中韓路線が増便等されるなど好調であったが、その後の国家間関係の緊張等により低迷。
- ✧ 一方で、台湾路線の増便や香港路線の就航など、訪日需要の拡大を背景とした路線拡充が進んだ結果、インバウンド利用は徐々に増加し、平成28年にはインアウトのシェアが逆転。

国際線(利用者数の推移) (単位: 万人/暦年)



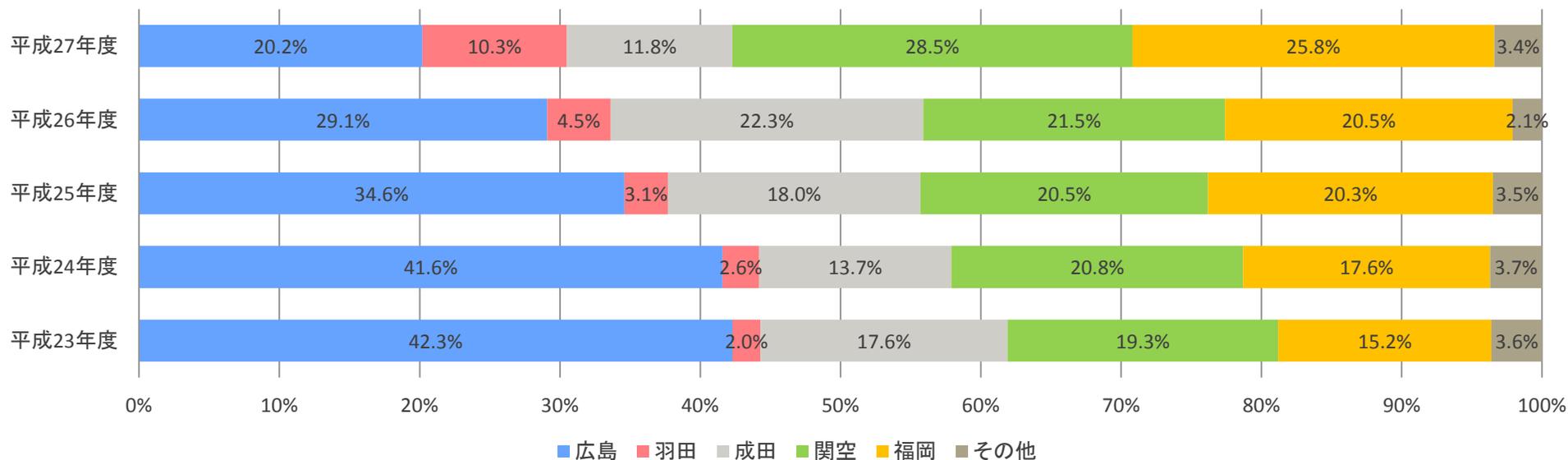
国際線(シェアの推移) (単位: 万人/暦年)



(出典) 法務省「出入国管理統計」から作成(日本人、外国人の区分で出国人数と入国人数を合計。なお、協定該当者は少数(1%未満)のため含めていない)

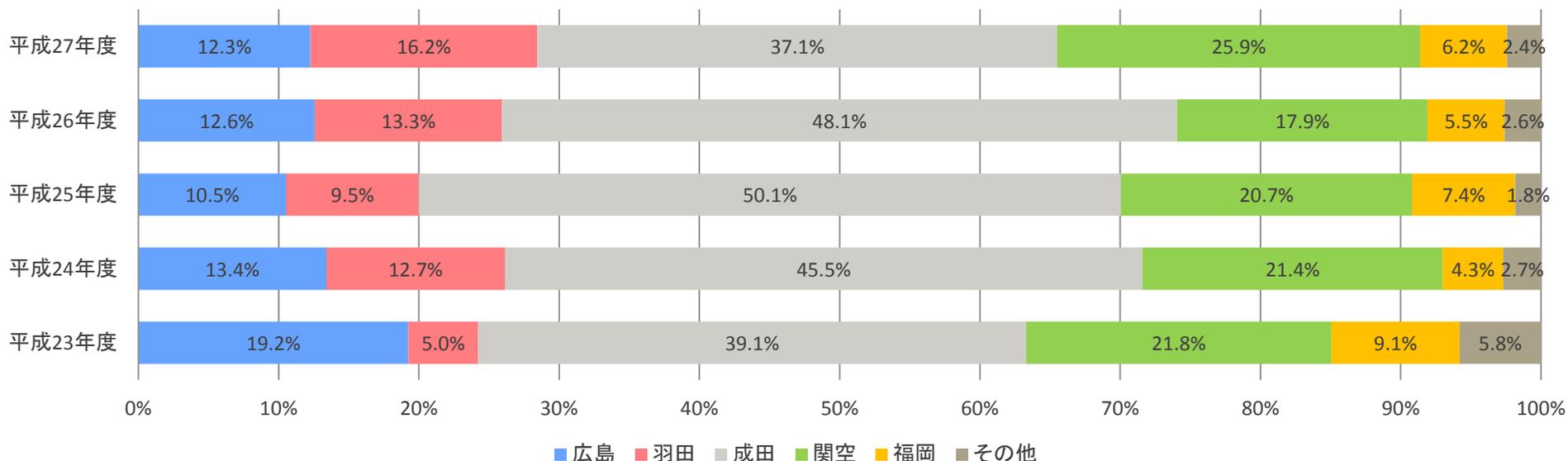
- ✧ 広島空港利用率は、平成25年度以降大きく低下しており、**関空や福岡空港といった近隣の大規模空港の利用が約4割を占める**など、利用の流出が課題。
- ✧ 利用の流出は、直行便エリアの利用者においても生じており、インバウンドやLCC市場の拡大等により、主に大規模空港のネットワークが拡大・多様化した結果、より利便性の高い他空港の利用が進んでいるものと考えられる。
- ✧ 一方で、**国内線からの乗継利用が想定される羽田・成田利用者を含む3空港のシェアは、微減傾向にあるものの概ね6割前後で推移しているため、近隣アジアを中心としたネットワークの充実に加えて、ハブ空港との乗継拡大を図るなど、国内線利用を活かした需要拡大も課題**である。
- ✧ なお、平成27年度には3空港全体のシェアも大きく落ち込んでいるが、4月に発生したアジアナ航空機事故の影響による短期的な動向の可能性も想定されるため、当面は状況を注視。

日本人の出国空港(広島県居住者)



- ✈ 広島県訪問者のうち**広島空港利用は1割前後**にとどまっており、**成田・羽田利用者が約6割**を占めている。
(平成27年度はアウトバウンドと同様に、シェアは落ち込んでいる。)
- ✈ ただし、首都圏空港入国者の多くが、ゴールデンルート^①を周遊しながら新幹線を利用して広島を訪れていると言われており、**国内外のハブ空港からのダイレクト便の利用拡大**が課題である。
- ✈ アウトバウンドと同様に**3割程度が関空、福岡**を利用しており、**ネットワークの充実**に加えて、**空港の片道利用などを通じた他空港との連携**なども進めていく必要がある。

外国人の出国空港(広島県訪問者)



広島～シンガポール線の概要(予定)

航空会社 シルクエア

就航時期 平成29年10月30日(月)

運航便数 3便(往復)／週(月・木・土)

便名	区間	運航日	出発時刻	到着時刻
MI867	広島→シンガポール	月・木・土	10:25	15:40
MI868	シンガポール→広島	月・木・土	1:45	9:30

※認可手続き中であり現時点の予定スケジュール。なお時刻は全て現地時間



シルクエアについて

- 1989年に設立されたFSC(フルサービスキャリア)
- シンガポールと近隣の地方都市とを結ぶ路線に就航。
- 現在は、東南アジア、南アジア、オセアニアなど15か国53都市に就航しており、すべての便がシンガポール航空と共同運航(コードシェア)を行っている。
- 親会社のシンガポール航空は、広島～シンガポール線を平成5年度～15年度の約10年間運航しており、現在は羽田・成田・関空・中部・福岡の5路線に就航。

【シルクエアの主な就航地(平成29年4月末現在)】

国名	都市
オーストラリア	ダーウィン, ケアンズ
カンボジア	シェムリアップ, プノンペン
インド	バンガロール, チェンナイほか6都市
インドネシア	デンパサール, ジョグジャカルタほか10都市
ラオス	ビエンチャンほか1都市
マレーシア	クアラルンプール, コタキナバル, ペナンほか2都市
モルディブ	マレ
ミャンマー	ヤンゴン, マンダレー
ネパール	カトマンズ
スリランカ	コロンボ
タイ	チェンマイ, プーケット, サムイ

※このほか、中国、フィリピン、ベトナムとシンガポールの14都市に就航。

「訪日誘客支援空港」の認定



国 別添1

訪日誘客支援空港については、各地域における訪日客誘致の取組機運を継続・醸成するため、地元の取組や意欲が一定レベルにあるものを幅広く認定することとし、以下の27空港※を認定する。

その際、空港毎に誘客実績等が異なる実情に合わせ、より効果的な支援を講ずる観点から、認定空港を以下の3カテゴリーに区分する。※バンドリング予定の北海道6空港は1とカウント

訪日誘客支援空港（拡大支援型） 計19空港

訪日誘客に一定の実績をあげているうえ、拡大に向けた着実な計画・体制を有しており、国の支援（運航コスト低減やボトルネック解消等）を拡大することにより、訪日旅客数のさらなる増加が期待される空港

静岡、仙台、熊本、茨城、北海道（稚内、釧路、函館、女満別、帯広、旭川）、高松、**広島**、北九州、米子、佐賀、新潟、小松、青森、徳島、鹿児島、南紀白浜、岡山、山口宇部、松山

※「訪日誘客支援空港の認定等に関する懇談会」（座長：東京女子大学竹内健蔵教授）による評価平均が80点以上の空港

※国による支援は「地方空港受入環境整備事業費補助金」及び「C I Q施設整備補助」による支援

訪日誘客支援空港（継続支援型） 計6空港

訪日誘客に一定の実績をあげているうえ、着実な計画・体制を有しており、引き続き、国の支援（運航コスト低減やボトルネック解消等）を実施することにより、訪日旅客数のさらなる増加が期待される空港

長崎、那覇、大分、宮崎、花巻、福島

※「懇談会」による評価平均が80点未満の空港

※国による支援：現行インバウンド割引制度、「地方空港受入環境整備事業費補助金」の一部による支援

訪日誘客支援空港（育成支援型） 計2空港

訪日誘客に高い意欲を持ち、国による伴走支援（戦略立案策定等）により、訪日旅客数の増加が期待される空港

松本、下地島

※「懇談会」評価平均が80点未満の空港のうち、ターミナル改修等の計画が確認でき、国による伴走支援が効果的と考えられる空港

※国による支援：継続支援型と同様の支援 + 航空局・観光庁・JNTO等による訪日誘客実現にむけた戦略・計画策定等の伴走支援

「訪日誘客支援空港」に対する支援(概要)



参考資料

新規就航・増便の支援

※支援は新規就航・増便のみ対象
 ※地域の同規模・同期間支援と協調

①国管理空港の国際線着陸料割引

[割引率 1/2以上・最大3年間]

⇒認定空港(拡大支援型)にて実施

※継続支援型・育成支援型は現行インバウンド割を活用

②コンセッション/地方管理空港の国際線着陸料補助

[着陸料本則の1/3補助・最大3年間]

⇒認定空港(拡大支援型)にて実施

③新規就航等経費支援

- ・チケットカウンター設置・使用料等
- ・地上支援業務(グラハン)、融雪(デアイシング)経費等

[1/3補助・最大3年間]

⇒認定空港(拡大支援型)にて実施

空港受入環境の整備等

①旅客の受入環境高度化

・空港ビル等による出入国容量拡大等に資する施設の整備(待合スペース、バゲージハンドリングシステム、ポーディングブリッジ、ランプバス、交通アクセス施設等)
 [1/3補助]

⇒認定空港(拡大支援型)

⇒認定空港(継続支援型)

⇒認定空港(育成支援型)にて実施

※ただし、拡大支援型を優先

②CIQ施設の整備

・空港ビル等によるCIQ施設の整備

[1/2補助]

⇒認定空港(拡大支援型)にて実施

関係部局・省庁との連携

①訪日外国人の受入対応 [観光庁]

・WIFI環境整備、多言語化、移動円滑化の経費

[1/3補助]

②海外PR等支援 [観光庁・JNTO]

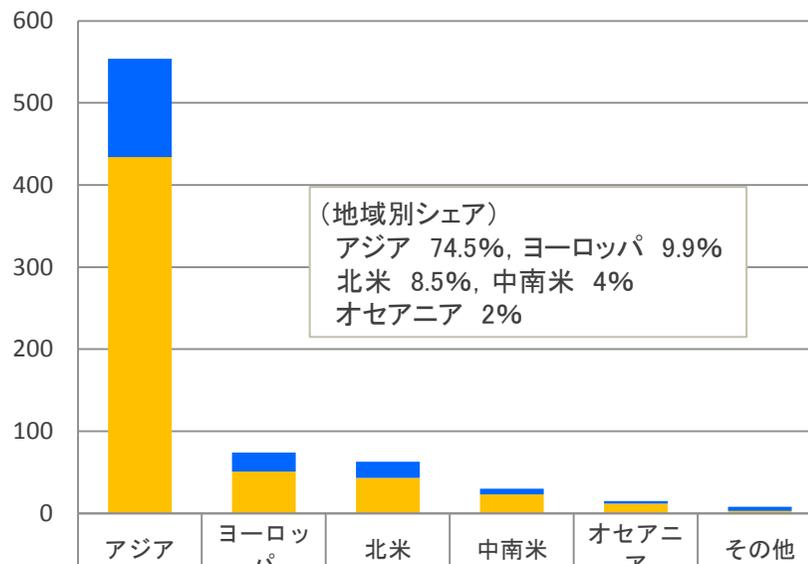
JNTO(日本政府観光局)による
 ・エアポートセールス相談
 ・専門商談会等への優先案内
 ・海外におけるPR支援

③CIQ体制の充実[法務省等]

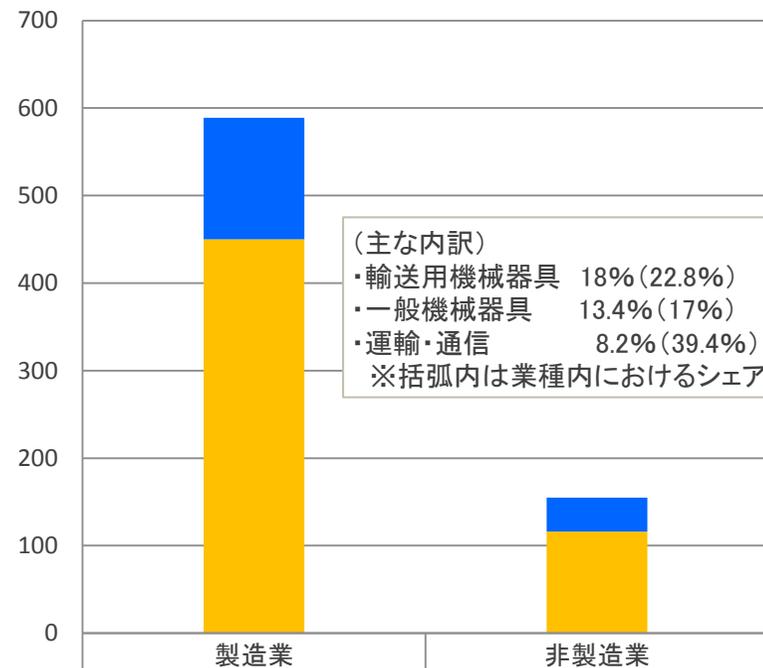
・CIQ関係省庁の物的・人的体制整備との協調

- 地域別に見ると、アジアが最も多く、次いでヨーロッパ、北米への進出が多い。
- 業種別には製造業が多く、内訳としては輸送用機械器具(自動車関連)、一般機械器具が全体の約3割を占めている。

地域別進出状況(事業所数)



業種別進出状況(事業所数)

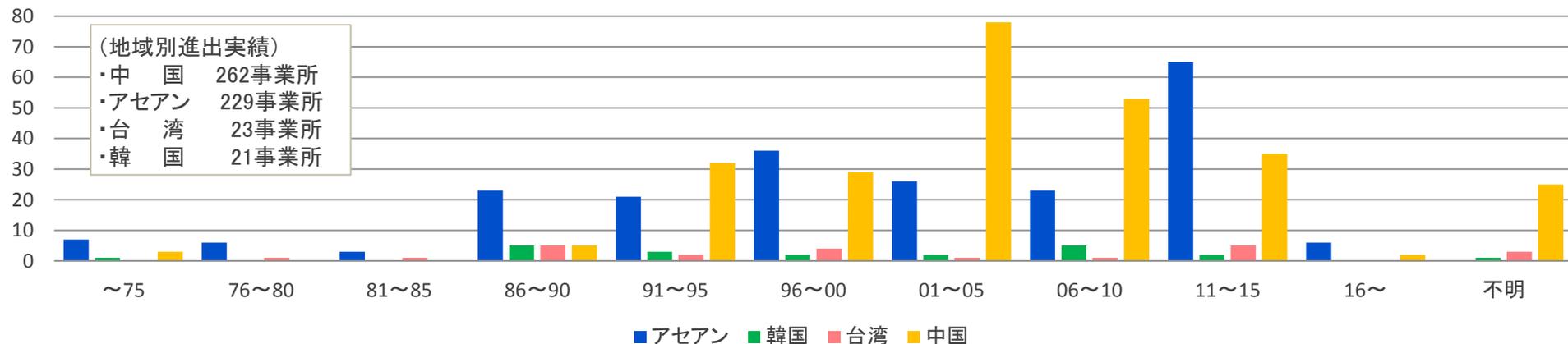


※出典:(公財)ひろしま産業振興機構「海外進出企業ダイレクトリー2016年」を元に作成

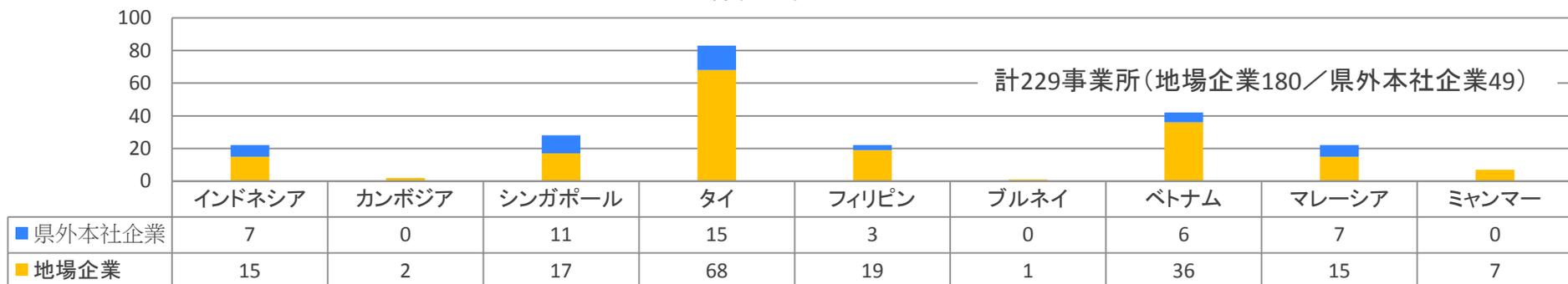
広島県企業のアジア地域における進出状況

- 進出企業の多いアジア地域における年次別の進出状況を見ると、近年はアセアン地域での進出が大幅に増えており、それまで最も多かった中国の進出数を大きく上回っている。
- アセアン域内における進出状況を見ると、タイへの進出企業が最も多い。

アジア地域の年次別進出状況(事業所数)

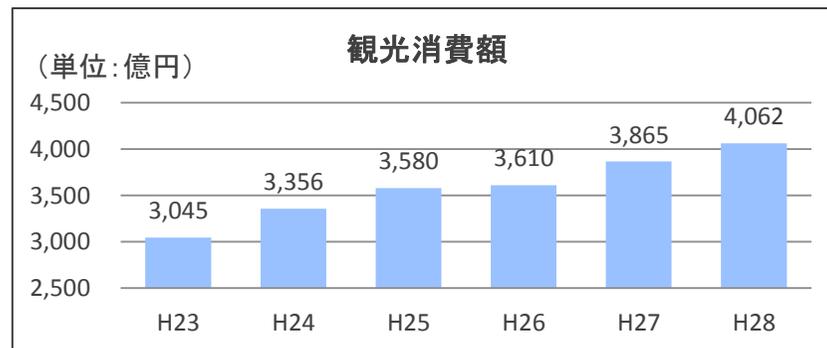
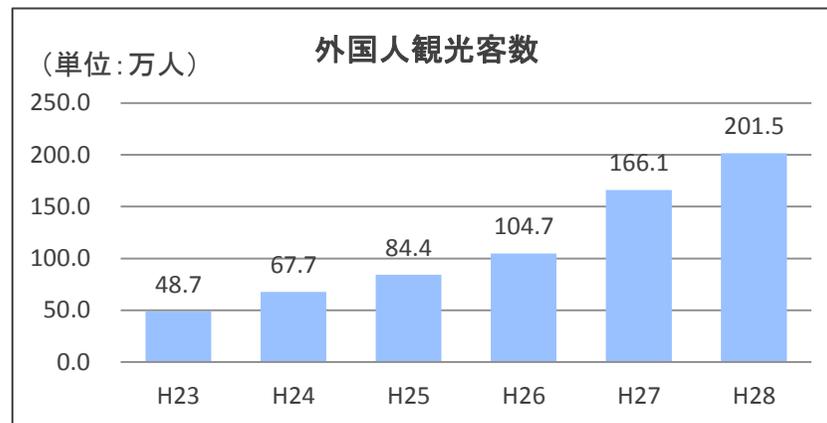
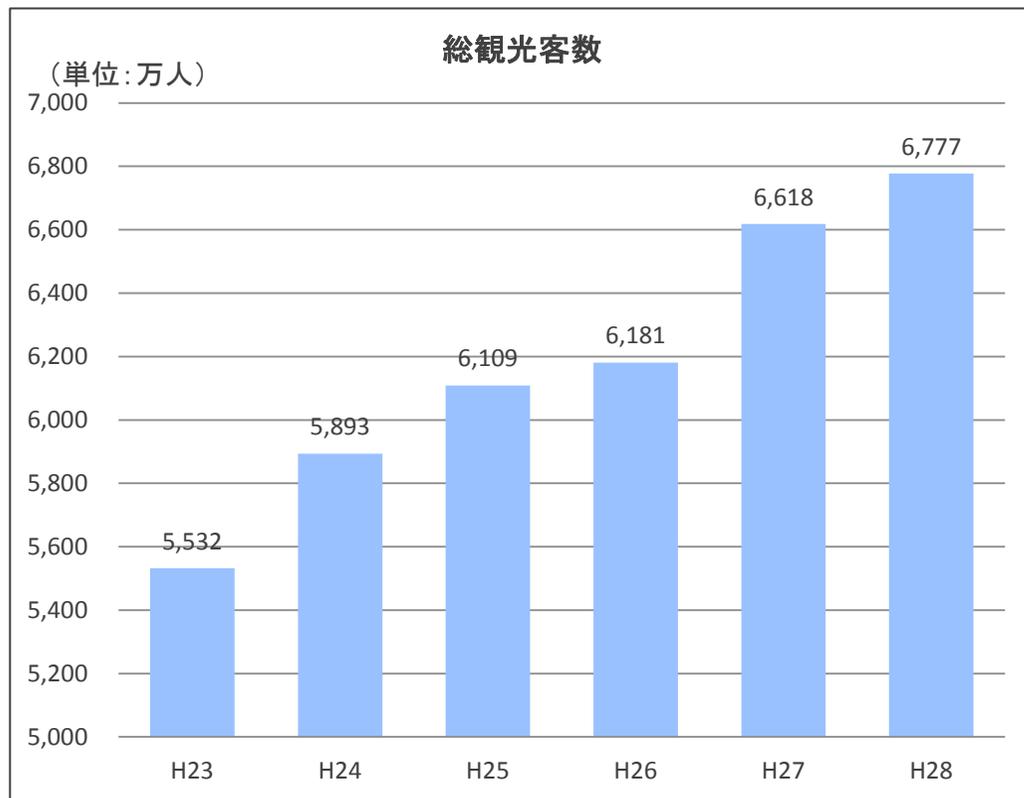


アセアン諸国の国別進出状況



※出典:(公財)ひろしま産業振興機構「海外進出企業ダイレクトリー2016年」を元に作成

- 平成28年の総観光客数は6,777万人で、平成27年と比べて159万人(2.4%)増加し、5年連続で過去最高を更新。
- 外国人観光客は201万5千人で、平成27年と比べて35万4千人(21.3%)増加し、5年連続で過去最高を更新。



<広島県の観光施策>

- 観光立県ひろしまの実現・観光地「ひろしまブランドの確立」のため、ひろしま観光立県推進基本計画(平成25~29年度)に基づき施策を実施。
- 平成29年度は同計画の最終年度であり、今年中の次期計画(平成30年度~34年度)の策定が予定されている。

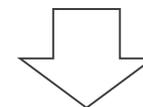
- 重点的に取り組む地域や時期を定め、戦略的なプロモーションを実施することにより、観光客の誘致と周遊促進を図る。
- 重点市場ごとに、旅行の手配や情報の入手方法等の特性に応じた情報発信を実施。

インバウンド観光振興に向けた取組

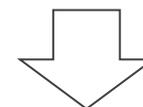
区分	概要
欧米豪	<ul style="list-style-type: none"> • 主に個人旅行者向けに、世界最大級の口コミサイトと連携した情報発信
アジア	<ul style="list-style-type: none"> • 主に旅行会社手配による旅行者向けに、宿泊を伴う誘客を促進するため、現地旅行会社等と連携し、広島宿泊商品の造成促進、広告宣伝
共通	<ul style="list-style-type: none"> • 無料Wi-Fiの理想拡大及びWi-Fiアプリを活用した情報発信 • 海外におけるデータ収集及び情報発信のため、現地旅行事情に精通した人材の配置・活用
受入体制整備	<ul style="list-style-type: none"> • 外国人観光客の利便性を向上させるため、飲食店等の多言語化を推進

外国人観光客数の目標

実績
平成28年:201万人



目標
平成29年:230万人

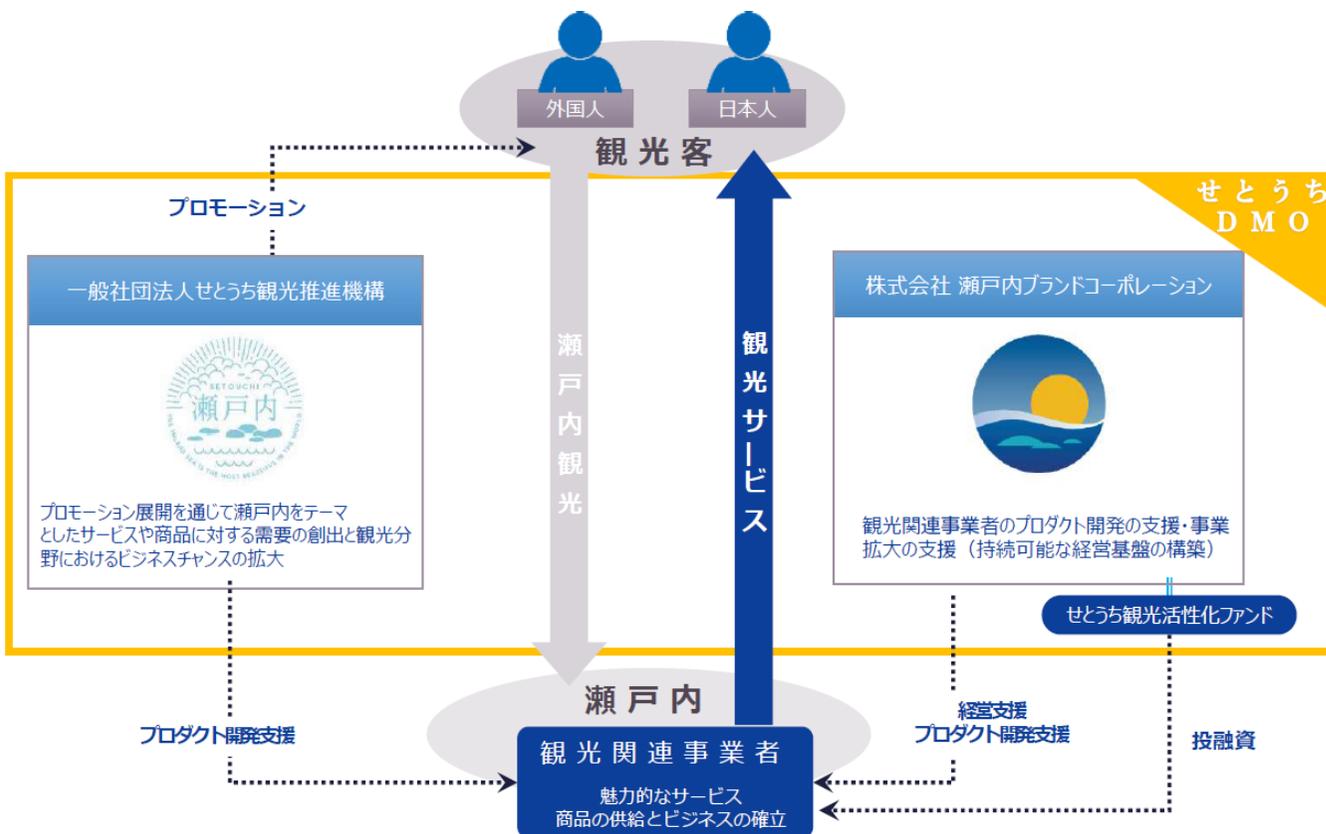


目標
平成32年:300万人

※次期ひろしま観光立県推進基本計画において、目標の見直しを予定

- 瀬戸内のDMOとして、このエリアの観光事業者を牽引し、瀬戸内のブランド化を加速させるため、瀬戸内ブランド推進連合(任意団体)を発展改組し、平成28年3月に設立。
- 平成27年6月に国土交通大臣から、「せとうち・海の道」が広域観光周遊ルートとして認定を受ける。

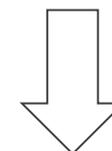
せとうちDMO概念図



KPI(抜粋)

瀬戸内7県における
外国人延べ宿泊者数

2016:280万人



2020:600万人

Visit Hiroshima Tourist Pass

・2016.4.1～(2017.3.30から広島空港リムジンバスにも利用範囲が拡大)

Visit Hiroshima Tourist Pass
Unlimited pass for streetcars, buses / express buses on major routes, and ferries (to Miyajima) in Hiroshima Prefecture!

Map showing coverage areas: SMALL Area (Hiroshima City / Miyajima Area) and WIDE Area (Hiroshima Prefecture Area).

Area	Validity	Price (incl. tax)
SMALL Area (Hiroshima City / Miyajima Area)	Valid for 3 Days	¥1,000
WIDE Area (Hiroshima Prefecture Area)	Valid for 3 Days	¥3,000
SMALL Area (Hiroshima City / Miyajima / Kure Area with Airport Limousine Bus*)	Valid for 5 Days	¥4,000
WIDE Area (Hiroshima Prefecture Area with Airport Limousine Bus*)	Valid for 5 Days	¥6,000

訪日外国人観光客を対象とした広島県内の主要路線バス、高速乗合バス、広島電鉄路面電車全線、船舶(宮島航路)がセットとなった周遊乗車券

◆販売価格

- SMALL Area(広島市内・宮島エリア) ----- 1,000円(3日間)
- SMALL Area with Airport Limousine Bus -----4,000円(5日間)
(広島駅, 広島バスセンター, 呉を結ぶ広島空港リムジンバス)
- Wide Area(広島県内エリア) -----3,000円(3日間)
- Wide Area with Airport Limousine Bus-----6,000円(5日間)
(広島駅, 広島バスセンター, 呉, 竹原, 三原, 尾道, 福山を結ぶ広島空港リムジンバス)

◆ 附属ガイド本「FUN PASS HIROSHIMA」

乗車券購入者には、モデルコースが記載され、県内の観光施設や飲食店舗等で割引が受けられる観光ガイド本を配布

◆販売箇所

- 広島空港窓口(インフォメーションカウンター)
- 広島駅南口交通案内所
- スワロートラベル(広島駅北口)
- 広島バスセンター(3階窓口)
- HIROSHIMA ORIZURU TOWER TOURIST INFORMATION CENTER(おりづるタワー1階カウンター内)
- HIROSHIMA MIYAJIMA-GUCHI TOURIST INFORMATION CENTER(宮島口もみじ本陣前)

※クレジット決済可

※上記の他、旅行会社による事前販売あり(上記販売箇所にてクーポン券を乗車券に変換)

空港ビルの国際線ロビー

- ・ 外国人観光客向けデジタルサイネージの設置(H28.2)
- ・ 観光案内所の設置(H28.4) ~ 各種案内のほかVisit Hiroshima Tourist Passを販売
- ・ 国際線到着ロビー改修(H28.9) ~ 案内所カウンター新設, ロビー拡張, サイクル・ハブ(組立スペース, 更衣室等)設置

テナント情報の多言語発信(H28.10~)

- ・ 館内のテナント情報を5か国語(日, 英, 中簡, 中簡, 韓)で表示するウェブサイトを作成(店舗情報, 商品情報, メニュー情報, エアポートホテル情報などを掲載)
(館内に同サイトにアクセスするQRコードを表示した案内看板を設置)

国際線到着ロビー

(案内所カウンター)



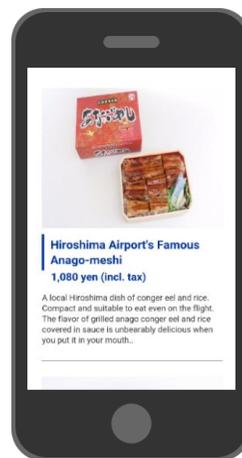
(サイクリスト更衣室)



(自転車組立スペース・工具スタンド)

テナント情報の多言語発信

・ 商品情報 (英語)



・ メニュー情報 (韓国語)



・ 店舗情報 (韓国語)

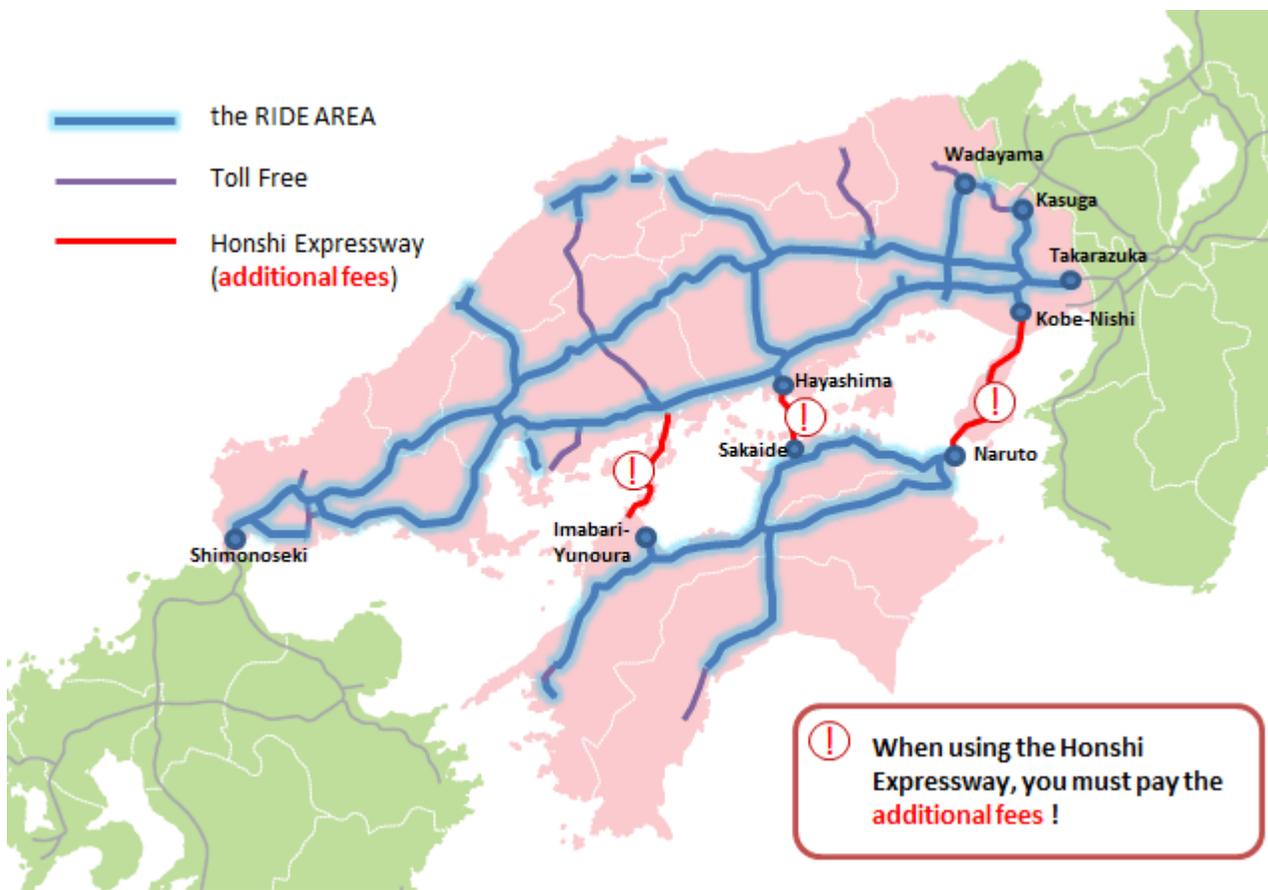


・ エアポートホテル情報 (中国語)



山陰・瀬戸内・四国エクスプレスウェイパス

平成29年3月25日から、NEXCO西日本により、訪日外国人を対象とした周遊型の高速道路割引企画「山陰・瀬戸内・四国エクスプレスウェイパス (Sanin-Setouchi-Shikoku Expressway Pass)」が販売



プラン	利用期間	料金
3days	連続する最大3日間	6,000円
4days	連続する最大4日間	7,000円
5days	連続する最大5日間	8,000円
6days	連続する最大6日間	9,000円
7days	連続する最大7日間	10,000円
8days	連続する最大8日間	11,000円
9days	連続する最大9日間	12,000円
10days	連続する最大10日間	13,000円

(出典)NEXCO 西日本HP <http://corp.w-nexco.co.jp/corporate/release/hq/h29/0222a/>